

演題名	持続可能な介護サービスの継続を目指して		
施設名	介護老人保健施設ライフサポートひなた	(ふりがな) 発表者(職種)	ふくもと たかとし 福元 貴俊(入所介護)
(ふりがな) チーム名	さくげん きわ ～削減の極み～		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	排泄用品の使用量が多く、購入金額が高い問題		
改善の指標と その目標値	(指 標) 「排泄用品の購入金額」 (目標値) 「排泄用品の購入金額を10%削減」		
実施した対策	<ul style="list-style-type: none"> ・失禁を減らす為、排泄表を使用し毎月アセスメント ・使用物品を判定する為、ディスカッションし毎月アセスメント ・排泄用品の性能を理解する為、6月に勉強会の実施 ・トイレ使用の継続の為、毎日立ち上がり訓練の実施 ・排泄用品のコスト意識を共有する為、毎月集計し周知 		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 「排泄用品の半年間の購入金額は160万2000円」 (実施後) 「排泄用品の半年間の購入金額は133万2000円で17%の削減の達成」		
歯止めと 標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な排泄用品を使用する為に、排泄委員会が毎月1回ミーティングで選定する ・失禁を減らす為に、フロアスタッフが適宜誘導時間の選定をする ・トイレ動作の維持の為、リハビリスタッフが毎日立ち上がり訓練を実施する ・削減する為に、排泄委員会が毎月1回排泄用品の購入金額をフロアミーティングで周知する ・適切な排泄用品の選定方法を職員が理解できるように、排泄委員会が半年に1回施設内研修を実施する 		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 川本 裕幸 入所介護士
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ③管理部門		2 淡路 大貴 入所介護士
活動期間	令和5年4月から10月		3 福元 貴俊 入所介護士
リーダー名 (職種)	川本 裕幸(入所介護士)		4 井上 愛 理学療法士
活動回数	12 回		5 内海 千尋 理学療法士
			6 下島 右資 支援相談員
			7 杉本 綾 入所看護師

【現状把握】

今年度のTQM活動のテーマの選定にあたって、施設全体にアンケートを取り、重要度、緊急度などを点数化した上で、TQMメンバー内で投票を実施。

その結果、『排泄用品削減』というテーマに決定。Our teamとなり、オムツやリハビリパンツなどを含めた排泄用品の使用を減らす事で、『持続可能な介護サービスの提供を目指して』取り組みを行うことになった。

現状把握としては、令和4年4月から9月までの排泄用品の購入金額を集計した。オムツやリハビリパンツ使用者が多い事がわかった。

【目標設定】

令和5年9月末までに、施設入居者の排泄用品の購入金額を10%削減することを目標とした。

【要因解析】

排泄用品の購入金額が高い要因に対して、フィッシュボーン解析を実施。

理由を掘り下げたところ、知識や技術、物品や管理、意識やご利用者様個別の理由などの要因が挙げられた。

【対策の立案と実施】

下記の対策を実施。

- ・失禁を減らす為、排泄表を使用し毎月アセスメント
- ・使用物品を判定する為、ディスカッションし毎月アセスメント
- ・排泄用品の性能を理解する為、6月に勉強会の実施
- ・トイレ使用の継続の為、毎日立ち上がり訓練の実施
- ・排泄用品のコスト意識を共有する為、毎月集計し周知

【効果の確認】

実施した対策の効果確認の為、半年間の排泄用品の購入金額を比較。令和4年度は160万2000円だったのに対し、令和5年度では133万2000円と、目標値の10%を上回る17%の削減を達成。又、オムツやリハビリパンツ使用者が減少し、布パンツへと大幅に変更することに成功した。

波及効果として排泄ゴミの金額も半年間で51744円の削減。また、クリニカルアウトカム新規改善者を8名獲得する事が出来た。

他にも無形効果として、チームワークや積極性、知識や技術、取り組みへの理解などが改善した。

【標準化と管理の定着】

下記の対策を実施。

- ・適切な用品を使用する為に、排泄委員会が毎月1回ミーティングで選定する
- ・失禁を減らす為に、フロアスタッフが適宜誘導時間の選定をする
- ・トイレ動作の維持の為、リハビリスタッフが毎日立ち上がり訓練を実施する
- ・削減する為に、排泄委員会が毎月1回排泄用品の購入金額をフロアミーティングで周知する
- ・適切な排泄用品の選定方法を職員が理解できるように、排泄委員会が半年に1回施設内研修を実施する

【反省と今後の進め方】

各手順に沿って、良かった点と悪かった点を分析し、今後の進め方を決定。取り組みを継続し、さらなる経費削減に繋げていきたい。